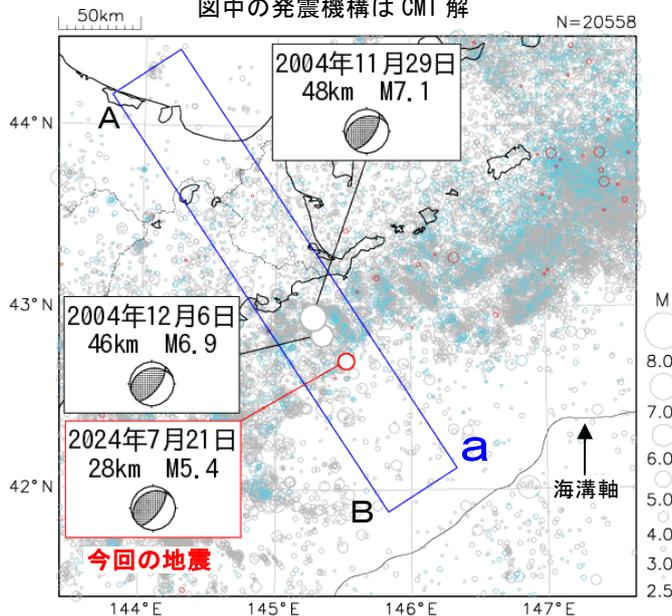


7月21日 釧路沖の地震

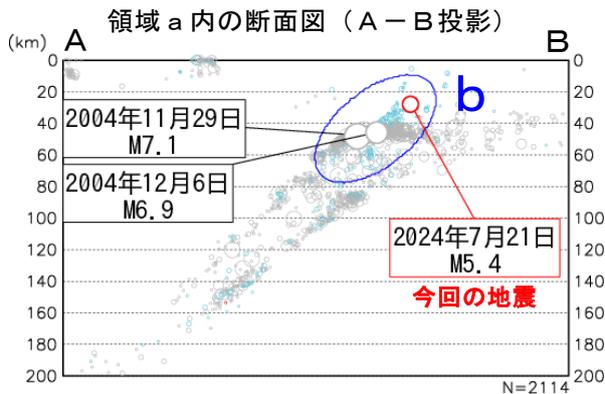
震央分布図
 (2001年10月1日～2024年7月31日、
 深さ0～200km、 $M \geq 2.5$)
 2020年9月以降の地震を水色、
 2024年7月の地震を赤色で表示
 図中の発震機構はCMT解



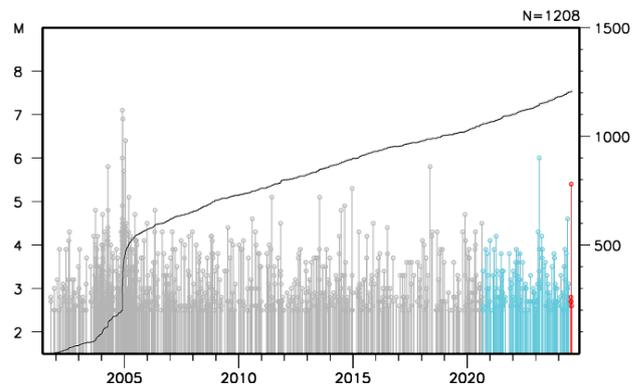
2024年7月21日13時27分に釧路沖の深さ28kmでM5.4の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M5.0以上の地震が時々発生しており、2004年11月29日のM7.1の地震（最大震度5強）では、負傷者52人、住家全壊1棟、一部破損4棟の被害が生じた（総務省消防庁による）。

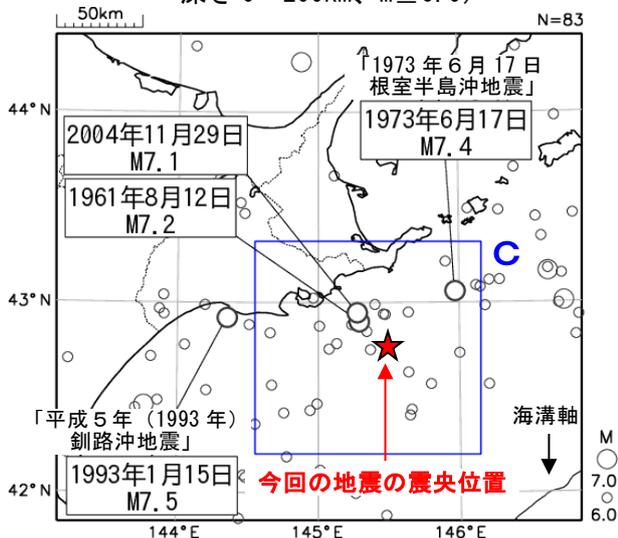
1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M7.0以上の地震が3回発生している。最大規模の地震は「1973年6月17日根室半島沖地震」（M7.4、最大震度5）で、根室市花咲で280cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測した。また、負傷者28人、住家被害5,153棟などの被害が生じた。（「昭和48・49年災害記録 北海道」による）。



領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
 (1919年1月1日～2024年7月31日、
 深さ0～200km、 $M \geq 6.0$)



領域c内のM-T図

